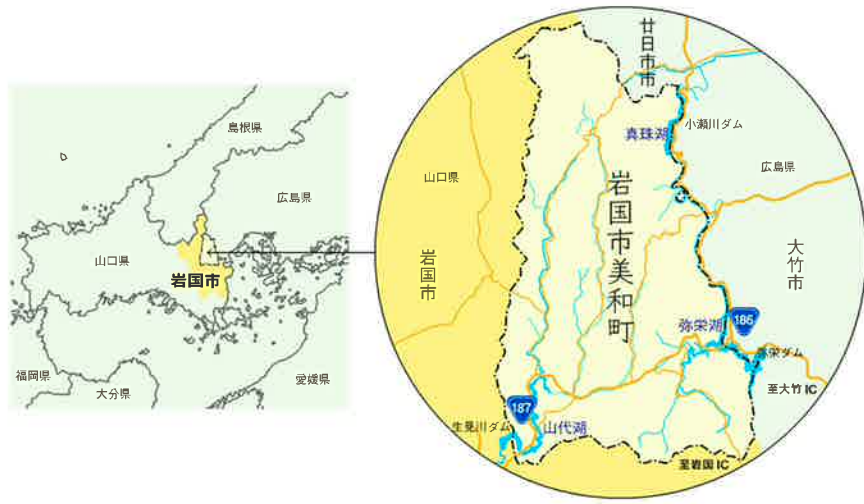


美和町について



人口：3,691
(高齢化率：47.1%)
世帯数：1,845
保育園：1
小学校：2
中学校：1
高校：1
病院・診療所
市立病院：1
一般病院：1
歯科：1

2021年2月現在

都市部へのアクセスが便利な里山です。

岩国市美和町は、広島県との県境・山口県東部にあり、標高150mの山代高原に広がる町です。岩国市街と広島県大竹市へは約24km、広島市とは約50kmの距離にあります。岩国市街や広島市など都市部への通勤・通学などが可能です。

豊かな自然とアウトドアレジャーが自慢です。

弥栄ダム(弥栄湖)、生見川ダム(山代湖)、小瀬川ダム(真珠湖)のダム湖や溪谷等の自然資源に恵まれ、四季折々の自然に触れながら生活できます。また、湖畔や山間部には数々のアウトドア施設があり、キャンプや登山、バス釣りといったアウトドアレジャーが盛んです。

美味しい米と野菜、特産品は岸根栗です。

きれいな水が流れる美和町。農業従事者も多く、町内には農地が広がっています。しかし人口減少に伴う後継者不足が課題です。美和町の特産品のひとつである岸根栗は、大きさや糖度の高さから栗の王様と呼ばれ、加工品や贈答品としても注目を集めています。

発行月 2021年3月

発行元 岩国市美和総合支所 地域振興課

〒740-1231 岩国市美和町生見12126番地

TEL 0827-96-1111 FAX0827-96-0415

制作 岩国市地域おこし協力隊 みわまち里山暮らし応援団「まちえーる」

未来も、ずっと、この家を。

山口県岩国市美和町で、
家を「手渡す」「受け継ぐ」ための
リーフレット

使っていない家のオーナー様と、
移住等で家をお探しの方へ。



「空き家情報登録制度」のご案内

岩国市美和総合支所 地域振興課

あの日の思い出、あなたの願い、
見えないものも「手渡し」しています。

CONTENTS

- P02 空き家活用のしくみ
- P03 移住者の声・地元の声
- P06 美和町の地域サポート体制
空き家活用のキーワード



「我が家」の物語。

祖父とすいかを食べた縁側。
家族が増えてにぎやかになった居間。
弟と妹と、背比べのあとが残る大黒柱。
日焼けした畳にゴロンと寝転んだ里帰り。

部屋に、物に、家族の思い出が染み込んで、
家は「我が家」になっていく。
住んでいなくても、「我が家」はずっと「我が家」。
だけど、住む者を失った「我が家」を、
いつまで「我が家」にしておけるのだろうか。

あなたの思い出がたくさんつまった大切な家だから。
美和総合支所地域振興課では、
家を「手放す」のではなく、次の人へきちんと「手渡し」。
手渡されて、家の未来を受け継ぐ人を応援する。
そのお手伝いに取り組んでいます。

懐かしい記憶が住む「我が家」に、もう一度。
新しい未来の物語を積み重ねてみませんか？

このパンフレットが、その「カギ」となりますように。

岩国市の空き家活用の仕組み

岩国市では、家のオーナー様のご意向を踏まえ、これからは必要とする方に空き家物件情報を提供しています。移住者の受け入れを希望する各地域と市が連携をとり、積極的に情報をPRし、空き家活用を推進しています(P06 空き家活用のキーワード参照)。

<http://iwakuni-iju.jp/akiyajoho>

家を売りたい・貸したい人

「誰も住む予定がない。」
「管理が大変。」
「遠方でそうそう帰れない。」
「家財の処分にお金がかかる。」
「このままでは心配。」



空き家を探している人

「古くても広く大きな家がいい。」
「子育て環境を考えたい。」
「田舎に住みたい。」
「創作活動に打ち込みたい。」
「好きなことで起業したい。」



移住者の声・地元の声

実際に空き家バンクを利用して美和町に移住して来られた方と、移住先の地元の方にお話をうかがいました。

CASE 1

「地域で移住者を受け入れる。」



「ここが我が家の故郷になる。」

IJU(移住)応援団
梶原俊典さん
出身地 美和町

暮らし方を見直し、美和町へ移住を決意。

「自然豊かな環境で、のびのびと子育てや音楽活動をしたかった。」と話す音楽家のダビットさん。楽器の音など周囲に気を遣う都市での暮らしに疲弊していた頃、知人を訪ね美和町に足を運び、そのおらかな暮らしぶりに感銘を受けたそうです。「不便なこともあるけれど、広々とした環境で心が解放される気がしました。」その後、ヨーコさんが岩国市地域おこし協力隊に応募されて、美和町への移住を実現されました。



▲移住先の地域イベントで、西アフリカの伝統太鼓ジェンベの演奏を披露するシラさん。「いつかここで教室を開いて、みんなで一緒にジェンベを叩きたいです。」

地域住民みんなが、移住者をサポートしてくれる心強さ。

「この地区へ縁もゆかりもない家族が住みたいと言ってくれた。おせっかいかもしれませんが何とかしてやろうと思った。」日頃より地域に増える一方の空き家を懸念されていたIJU(移住)応援団の梶原さんをはじめとする地元住民の方々が、シラさん一家の定住を全面的にサポートされました。「地域の活性化はひとりではできない。だから住民みんなで協力する。シラさんもここに来た以上はその一員、たのむよ!(笑)」と、梶原さん。シラさんはすでに定住の意思を固めておられます。「梶原さん、空き家のオーナーさん、そして地元の方々、皆さんが我が家の定住を応援してくださる気持ちがとても心強かったです。受け入れてくださった地域みなさんへ、自分たちができることを返していきます。ここは私にとって日本の故郷です。」



▲地元の方に教わりながら、農作業にも参加しています。梶原さん「地域に先生がいっぱいいるから、やる気があればシラさんみたいに初めてでも何とかなる。」

移住者
Syllaさんご一家
ダビット・シラさん/ヨーコ・シラさん
出身地 ギニア共和国(ダビットさん) 岡山県倉敷市(ヨーコさん)
移住年 R2.7月

移住者満足度アンケート

□岩国市空き家バンクを利用した感想は?

☺ 満足
移住前に地元の方とのつながりができた。

□住環境は?

☺ 大満足
家の中も外も広々していて快適。不便さ以上のメリットがある。五右衛門風呂最高!

□生活コストは?

☹ 普通
特にガソリン代と、冬の灯油代がかかる。家庭菜園や野菜直売の利用で食費が減った。

□地域活動の参加や人間関係は?

☺ 大満足
おすそわけをいただいたり、都市部在住時よりご近所との交流が増えて楽しい。車列りに出ると、下手くそでも喜んでもらえる。

☺ 大満足 ☹ 普通 ☹ 不満 4段階評価

▲空き家をご自身でリノベーション。DIYは初めての経験でした。ご近所さんの協力で道具をお借りし、使い方を教えてもらいました。

CASE 2

「庭の手入れも楽しみのひとつ。」



「心配が安心に変わりました。」

移住者
村田英一さん
出身地 山口県田布施町
移住年 R2.6月

移住者満足度アンケート

□岩国市空き家バンクを利用した感想は?

☺ 満足
見学から契約までスムーズにできた。家主さんがいい方良かった。

□住環境は?

☺ 大満足
元々古い家に魅力を感じる。植物が多い庭や畑があるのが良い。

□生活コストは?

☺ 大満足
畑で採れた野菜を食べている。コスト面に加え、気持ちの満足度が高い。

□地域活動の参加や人間関係は?

☺ 大満足
仕事で留守にすることも多いが、ご近所さんが食事に誘ってくれるのが嬉しい。

☺ 大満足 ☹ 普通 ☹ 不満 4段階評価



▲空いた時間に、長年放置されていた庭木のお世話をされています。「子供の頃、曾祖父がやっていたのをよく覚えています。私が植物好きなのは、曾祖父の影響ですね。」

二人をつなげたのは、時を重ねた不便な家。

「冬、この家は寒いのに大丈夫でしたか?」「ストーブがあればそうでもなかったですよ。」と暮らしぶりについて話しが弾む渋谷さんと村田さん。空き家バンク登録時に「あまりいい条件じゃないから。」と持ち家の劣化や不便さを心配されていた渋谷さんですが、契約された村田さんは古い家や里山がお好きだそうで「見学に来て、ここは落ち着く場所だなと感じました。」とすぐに家や周囲の環境を気に入られたそうです。



▲ドライブ好きの村田さんと、この辺りの道を熟知されている渋谷さん。「あの道を抜けたらはやいでしょう。」「そうそう、割と近いですよ。」地元の方ならではの抜け道情報を交換。

古い住まいが、次世代に引き継がれて生まれ変わる喜び。

「植物が身近な環境で育ちました。実家では曾祖父が庭木を剪定し、道具の手入れをしていました。」村田さんは移住後、長らく手入れされていなかった庭や畑を、パートナーさんと一緒に協力しながら少しずつ綺麗にされています。日当たりの良い縁側はお二人にとって最高の休憩場所。「今日はここ、次はここ、あれこれ考え修理や手入れをするのが楽しみ。大変とは感じません。」そして「自家菜園で野菜を育てていますが、渋谷さんやご近所さんにいただいた野菜を食べたらこれがすごく美味しくて。今シーズンは菜園にも力を入れたい。」と、村田さんには目標ができました。「取り壊そうかと思っていた実家が生き返り、新しい道を進み始めたかのような。いい方に入ってもらって本当に助かっています。」渋谷さんは嬉しそうにおっしゃられました。



▶立派な柱で支えられた納屋があるのも魅力だと感じた村田さん。「この納屋をどう活用するかを考えるのが楽しい。」



CASE 3

子育ては、美和町で。
迷いはなかった。



我が家も
地域も、
みんな幸せ。

移住者
平野さんご一家
平野優毅さん / 平野加奈さん

出身地 美和町 (現職者) / 岩国市 (主婦)

移住年 H31.1月

移住者満足度アンケート

□岩国市空き家バンクを利用した感想は？
職員さんの対応が
あたたかく、
移住後のフォローも
あって嬉しかった。
大満足

□住環境は？
通勤の負担が
減った。距離は少し
遠くなったけど、
渋滞なしで移動時間
が逆に大幅短縮。
大満足

□生活コストは？
遊具のある公園が
ないので、そこに
遊びに行くための
ガソリン代は増。
あとは冬の電気代、
想像以上にかかる。
普通

□地域活動の参加や
人間関係は？
ご近所の皆さんが
とても良い方で、
交流が楽しい。
息子を孫のように
可愛がってくれる。
息子の成長にも
良い効果があると
感じている。
大満足

子供を授かり、故郷に帰ろうと思った。

平野さんはUターンで美和町に移住されました。「子育てを美和町でしたかった。実家があることも理由ですが、都市部にはないのびのびとした環境が良くて。」と優毅さん。すぐに美和町の空き家情報を探されましたが「不動産検索サイトなどでは美和町の物件になかなか出会えなくて。」最終的に市役所へ相談し、空き家バンクに登録中だった今の物件を紹介してもらったそうです。「そこからはとてもスムーズでした。」



▲「散歩が大好きで近所をよく歩いています。あぜ道、小川、ご近所さんとの交流、遠出をしなくてもいろんな体験させてあげられるのがこの魅力です。」

ご近所さんたちとの交流が、子供の心の成長につながる。

移住して良かったことは何ですか？とお尋ねしたところ「お隣りさんをはじめ、ご近所の皆さんが優しいことです。」と加奈さん。「お家に遊びに行かせてもらったり、田畑の作業のお手伝いをさせてもらったり、赤ちゃんの頃から家族以外の幅広い世代の方と交流しているので、子供の心がより豊かに育っていると感じます。」ご近所の皆さんには感謝の気持ちしかない、とおっしゃる平野さんご夫婦。美和町での子育て環境に満足している様子うかがえます。また、優毅さんは移住されて通勤のストレスが軽減したのだとか。「渋滞や信号待ちなどで意外と時間がかかっていました。同じ車通勤なら、美和町からの方が楽ですね。」世代を超えた交流や、交通の利便性を活かした通勤、忙しい子育て世代にとって、美和町への移住はメリットが多いようです。



▲▶写真データは、家族の笑顔の写真がたくさん。「いろんな思い出を息子に残してあげたいです。」

大満足 満足 普通 不満 4段階評価

▶お気に入りのマイカーに乗って遊ぶ息子さん。「自宅の庭も近くの公園も広くて安全。気兼ねなく大きなおもちゃで遊ぶことができるのは嬉しい。」

美和町の地域サポート体制



R2年度移住定住促進窓口
河本 恵里
美和総合支所 地域振興課

地元住民も移住者も、みんなが住みやすい地域を目指しています。

「空き家の処分に困っている。」「過疎化の中で地域機能を維持するには？」地域振興課の窓口には美和町にお住まいの方が様々な相談に来られています。そしてその一方で「古民家に移住したい。」「美和町にはどんな移住支援があるのか？」といった移住希望者からの相談もあります。双方がうまくマッチングできれば、お互いの希望が叶えられるかもしれない。そんな思いでこのリーフレットを作りました。

最近、田舎暮らしに興味を持たれる若い方が増えています。空き家を活用したカフェなどの起業、自然豊かな環境での子育て、農業への参加など、様々な夢を持った方が地域に入られることで賑わいが生まれたり、刺激になったり、今までになかった新しい価値が生まれるかもしれません。しかし都市部からいきなりやって来た移住者を実際に受け入れるにあたって、住民の方には心配や不安といったお気持ちもあるかと思えます。移住する側、受け入れる側、それぞれのメリット・デメリットを正直にお伝えし、お互いが歩み寄れるように、そして美和町で暮らすことを選択された方に「美和町に住んで良かった」と思ってもらえるように、地域振興課でサポートしていきたいです。

美和町での空き家、移住の相談窓口はこちらです。

TEL 0827-96-1111 Email chiiki-ws@city.iwakuni.lg.jp
FAX 0827-96-0415

美和総合支所 地域振興課 〒740-1231 岩国市美和町生見12126番地

空き家活用のキーワード

岩国市空き家情報登録制度

通称「空き家バンク」。岩国市の中山間地域にある利用可能な空き家を活用してUIターンによる移住定住を促進し、地域を活性化する制度です。移住希望者には、地域に溶け込み、地域活動に参加されるようお願いしています。また、修繕や家財道具の処分等に役立つ助成金制度のご利用も可能です。



※制度のご利用には登録が必要です。

IJU(移住)応援団

空き家バンクを利用してUIターンを希望する人と、移住者の誘致を希望する地域とを結ぶ岩国市の制度です。IJU(移住)応援団の登録がある地域では、岩国市空き家情報登録制度に空き家情報を登録する事ができます。市は中山間地域の定住促進による地域の活性化を図るためにホームページ等を通じて空き家情報を積極的に発信、提供します。

公開中の空き家情報

<http://iwakuni-iju.jp/akiyajoho>



美和町で暮らす、育てる、働くをテーマに、ブログ記事を書いています。

<https://welcometomiwamachi.wixsite.com/machiyell>